

# 令和元年12月 東京地区百貨店売上高概況

令和2年1月22日

## I. 概況

1. 売上高総額	1,750億円余
2. 前年同月比	-3.2% (店舗数調整後/3か月連続マイナス)
3. 店頭・非店頭の増減	店頭-3.8%(90.5%) : 非店頭3.2%(9.5%) ( )内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	12社 25店 (令和元年11月対比±0店)
5. 総店舗面積	838,540㎡ (前年同月比:-0.1%)
6. 総従業員数	17,101人 (前年同月比:-2.9%)
7. 3か月移動平均値	5-7月 -1.9%、6-8月 -0.1%、7-9月 7.0%、 (店舗数調整後) 2019.8-10月~ 8-10月 1.5%、9-11月 -1.7%、10-12月 -8.1%

[参考] 平成30年12月の売上高増減率は-1.1%

### 【特徴】

- (1) 12月の東京地区売上高(3.2%減/前月より1.5ポイント改善)は、消費増税の影響が続く中、前年には届かなかったものの、ラグジュアリーブランドや宝飾・時計などの高額商材と軽減税率対象の食料品は増勢で、着実な回復基調を示している。また、入店客数は休日(土曜祝日)が2日少なかったことから3.8%減となったが、各社が展開したイベントは好評で集客に寄与した。
- (2) 主要5品目のうち、食料品(1.2%増)は、中食ニーズの高まりや手土産需要などから、惣菜や和洋菓子が牽引し2か月連続プラスとなった。季節商材のクリスマスケーキやおせちも好調で、特にオンライン受注が大きく伸ばした。年末商戦では、正月準備用の商材として鮮魚、果物、野菜が動いたほか、その他食料品も前年実績を確保した。
- (3) 雑貨(5.1%減)と身のまわり品(5.6%減)は、高額商材の伸長によりマイナス幅が大きく改善した。細分類の美術・宝飾・貴金属(1.8%増)は、高級時計や宝飾品が活発に動き3か月ぶりにプラスに転じた。化粧品は、基礎化粧品には消費増税の反動影響が残るものの、クリスマス限定コフレやメイク関連などは好調で復調の兆しが見える。
- (4) 衣料品(7.6%減)は暖冬の影響から、コート、ブルゾン、ニットなど防寒着が苦戦したが、特選衣料の他、ジャケット、ワンピース、ブラウスなど中・軽衣料は動きが良かった。
- (5) 令和元年の年間売上高は、既存店ベース(店舗数調整後)で1.2%減(1兆5,975億円)と3年ぶりのマイナスとなった。このうち、化粧品と高額品が牽引した雑貨(2.0%増)は8年連続プラスと好調を維持しており、食料品(0.3%増)は2年連続でプラスしている。
- (6) 1月中間段階の商況は、2.1%減(1/16)で推移している。

### 【要因】

- (1) 営業日数増減 31.0日 (前年同月比 ±0日)
- (2) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数17店舗)  
①増加した: 0店、②変化なし: 5店、③減少した: 12店
- (3) 12月歳時記(年末商戦(歳暮、クリスマス、年末年始商材))の売上(同上/有効回答数14店舗)  
①増加した: 1店、②変化なし: 11店、③減少した: 2店

## 東京地区百貨店 売上高速報 2019年12月

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%)
<b>総 額</b>	<b>175,039,738</b>	<b>100.0</b>	<b>-3.2 ( -3.5)</b>
紳士服・洋品	13,182,120	7.5	-6.8 ( -6.8)
婦人服・洋品	24,559,472	14.0	-7.6 ( -7.7)
子供服・洋品	2,284,962	1.3	-8.4 ( -8.4)
その他衣料品	2,457,552	1.4	-10.1 ( -10.1)
<b>衣 料 品</b>	<b>42,484,106</b>	<b>24.3</b>	<b>-7.6 ( -7.6)</b>
<b>身のまわり品</b>	<b>24,035,108</b>	<b>13.7</b>	<b>-5.6 ( -5.6)</b>
化粧品	15,420,499	8.8	-2.3 ( -2.6)
美術・宝飾・貴金属	12,427,640	7.1	1.8 ( 1.4)
その他雑貨	6,523,725	3.7	-20.7 ( -20.8)
<b>雑 貨</b>	<b>34,371,864</b>	<b>19.6</b>	<b>-5.1 ( -5.4)</b>
家具	1,760,798	1.0	-3.6 ( -3.6)
家電	570,550	0.3	-1.9 ( -1.9)
その他家庭用品	4,095,553	2.3	-5.9 ( -5.9)
<b>家庭用品</b>	<b>6,426,901</b>	<b>3.7</b>	<b>-4.9 ( -4.9)</b>
生鮮食品	8,254,741	4.7	-1.4 ( -1.4)
菓子	17,075,319	9.8	1.6 ( 1.4)
惣菜	13,341,569	7.6	3.8 ( 3.8)
その他食料品	19,304,918	11.0	0.4 ( 0.4)
<b>食 料 品</b>	<b>57,976,547</b>	<b>33.1</b>	<b>1.2 ( 1.2)</b>
<b>食堂 喫茶</b>	<b>3,110,326</b>	<b>1.8</b>	<b>-2.6 ( -2.9)</b>
<b>サ ー ビ ス</b>	<b>2,144,509</b>	<b>1.2</b>	<b>-7.9 ( -7.9)</b>
<b>そ の 他</b>	<b>4,490,377</b>	<b>2.6</b>	<b>22.0 ( 11.1)</b>

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。

本統計には消費税は含まれておりません。

対前年増減(-)率(%)

商品券	4,594,485 千円	-7.5 ( -7.5)
従業員数	17,101 人	-2.9
店舗面積	838,540 m <sup>2</sup>	-0.1

営業日数	31.0 日	前年	31.0 日
------	--------	----	--------

## Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目は、食料品が2か月連続のプラスとなった。また、衣料品、身のまわり品、雑貨が3か月連続、家庭用品が2か月ぶりのマイナスとなった。その他の品目は、菓子、惣菜が2か月連続、美術・宝飾・貴金属、その他食料品が3か月ぶりのプラスとなった。

### 【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
<b>総額</b>	<b>-3.2</b>	<b>—</b>	<b>3か月連続マイナス</b>
紳士服・洋品	-6.8	-0.5	3か月連続マイナス
婦人服・洋品	-7.6	-1.1	3か月連続マイナス
子供服・洋品	-8.4	-0.1	3か月連続マイナス
その他衣料品	-10.1	-0.2	3か月連続マイナス
<b>衣料品</b>	<b>-7.6</b>	<b>-1.9</b>	<b>3か月連続マイナス</b>
<b>身のまわり品</b>	<b>-5.6</b>	<b>-0.8</b>	<b>3か月連続マイナス</b>
化粧品	-2.3	-0.2	3か月連続マイナス*
美術・宝飾・貴金属	1.8	0.1	3か月ぶりプラス*
その他雑貨	-20.7	-0.9	3か月連続マイナス*
<b>雑貨</b>	<b>-5.1</b>	<b>-1.0</b>	<b>3か月連続マイナス</b>
家具	-3.6	-0.0	3か月連続マイナス
家電	-1.9	-0.0	7か月ぶりマイナス
その他家庭用品	-5.9	-0.1	3か月連続マイナス
<b>家庭用品</b>	<b>-4.9</b>	<b>-0.2</b>	<b>2か月ぶりマイナス</b>
生鮮食品	-1.4	-0.1	15か月連続マイナス*
菓子	1.6	0.1	2か月連続プラス*
惣菜	3.8	0.3	2か月連続プラス*
その他食料品	0.4	0.0	3か月ぶりプラス*
<b>食料品</b>	<b>1.2</b>	<b>0.4</b>	<b>2か月連続プラス</b>
<b>食堂喫茶</b>	<b>-2.6</b>	<b>-0.0</b>	<b>3か月連続マイナス</b>
<b>サービス</b>	<b>-7.9</b>	<b>-0.1</b>	<b>3か月連続マイナス</b>
<b>その他</b>	<b>22.0</b>	<b>0.4</b>	<b>2か月連続プラス</b>
<b>商品券</b>	<b>-7.5</b>	<b>-0.2</b>	<b>15か月連続マイナス</b>

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

## 東京地区百貨店 売上高速報 2019年1月～2019年12月

	売上高(千円)	構成比 (%)	対前年増減(-)率 (%)
<b>総 額</b>	<b>1,597,557,052</b>	<b>100.0</b>	<b>-1.2 ( -1.3)</b>
紳士服・洋品	125,566,780	7.9	-4.1 ( -4.1)
婦人服・洋品	267,459,514	16.7	-4.0 ( -4.0)
子供服・洋品	31,774,783	2.0	-3.3 ( -3.3)
その他衣料品	27,244,818	1.7	-2.3 ( -2.3)
<b>衣 料 品</b>	<b>452,045,895</b>	<b>28.3</b>	<b>-3.9 ( -3.9)</b>
<b>身のまわり品</b>	<b>228,418,426</b>	<b>14.3</b>	<b>-2.3 ( -2.3)</b>
化粧品	171,999,578	10.8	0.7 ( 0.6)
美術・宝飾・貴金属	121,813,499	7.6	11.7 ( 11.6)
その他雑貨	64,595,409	4.0	-9.5 ( -9.6)
<b>雑 貨</b>	<b>358,408,486</b>	<b>22.4</b>	<b>2.0 ( 2.0)</b>
家具	18,332,613	1.1	1.9 ( 1.9)
家電	10,428,210	0.7	24.5 ( 24.5)
その他家庭用品	39,341,820	2.5	-8.7 ( -8.7)
<b>家 庭 用 品</b>	<b>68,102,643</b>	<b>4.3</b>	<b>-1.9 ( -1.9)</b>
生 鮮 食 品	56,264,500	3.5	-2.8 ( -2.8)
菓 子	115,485,949	7.2	1.7 ( 1.6)
惣 菜	85,797,980	5.4	1.0 ( 1.0)
その他食料品	133,386,387	8.3	0.1 ( 0.1)
<b>食 料 品</b>	<b>390,934,816</b>	<b>24.5</b>	<b>0.3 ( 0.3)</b>
<b>食 堂 喫 茶</b>	<b>33,659,926</b>	<b>2.1</b>	<b>-5.5 ( -5.6)</b>
<b>サ ー ビ ス</b>	<b>25,154,465</b>	<b>1.6</b>	<b>-1.1 ( -1.1)</b>
<b>そ の 他</b>	<b>40,832,395</b>	<b>2.6</b>	<b>-2.9 ( -5.3)</b>

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。

本統計には消費税は含まれておりません。

		対前年増減(-)率 (%)
商品券	30,098,446 千円	-11.3 ( -11.3)
従業員数	207,406 人	-3.5
店舗面積	10,039,919 m <sup>2</sup>	-0.6

営業日数	30.2 日	前年	30.3 日
------	--------	----	--------

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・橘・長柴 まで  
 TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>